

2010. 12. 28

≡どこでも食品衛生掲示板≡

餅つき大会でノロウイルスによる食中毒が発生しています

ノロウイルスによる感染性胃腸炎が全国的に流行しています。12月中旬には大阪府の小学校で行われた餅つき大会で餅を食べた参加者等が、ノロウイルスによる食中毒になった事例がありました。餅つきイベントにおけるノロウイルス食中毒は過去にも発生しており、いずれも餅つき作業中に手指を介してノロウイルスに汚染した餅が原因となっています。

年末年始には、様々な餅つきイベント等が行われます。食中毒を防ぐために以下のポイントに注意してください。

餅つきの手返しや、きなこ餅、あんころ餅にする際には、餅に直接触れる作業工程があり、手指を介してノロウイルス汚染を広げる可能性があります。

これらの作業を行う人の手指等からの汚染を防止することが重要です。

餅つき大会で注意すべきポイント

- 餅つき作業を行う参加者は、十分な手洗いを徹底しましょう。
- 下痢、おう吐、発熱などがある人は、参加を避けましょう。
- 作業に応じて清潔な手袋やマスクを使用しましょう。

手洗いのポイント

- 石けんをよく泡立てて、指の先や指の間、手のひらや手の甲など、手全体を丁寧にみ洗いして、最後に流水で十分にすすぎましょう。
- 水道の蛇口も手と一緒に石けんで洗い流しましょう。

- ◆ ノロウイルス食中毒注意報については、以下のアドレスをご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/eisei/syokuhin/happyou/chuui10n.pdf>

- ◆ ノロウイルス感染症・食中毒については、以下のアドレスをご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/eisei/hokenyob/noro.htm>

●内容に関するご意見・お問い合わせ先

・長野県庁健康福祉部食品・生活衛生課

(電話 026-235-7155, FAX 026-232-7288, 電子メール shokusei@pref.nagano.lg.jp)

・最寄りの保健福祉事務所(保健所) 食品衛生相談窓口